ひかりのこつうしん

「 成長の芽 」

2025 年10月

ひかりの子幼稚園
園長　若槻　　三記子

10月の爽やかな青空の下、無事に運動会を終えることができ、本当に嬉しく思います。順延続きの開催となりましたが、皆様の温かいご声援とご協力のおかげで、子どもたちの持てる力を発揮することができたこと、心より感謝申し上げます。子どもたちの成長した姿に、目頭を熱くされた方も多かったのではないでしょうか。運動会を通して子どもたちの心と体に確かな変化と成長の芽が育ってきたと感じるこの頃です。

「できなかったことができた」という成功体験から自信がつき、様々なことに**チャレンジ**しようという子どもたちの姿があちらこちらで見られます。小さな学年の子どもたちは、年長組さんのパラバルーンを見学したり、教えてもらうことで、年長さんへの憧れが益々膨らみました。

また、みんなと力を合わせて**協力**する喜びを感じ、クラスごとの団結力が芽生えてきたように思います。「どうしたら勝てるかな？」「〇〇ちゃんができるように助けよう。」と集団の中で自分の役割を果そうとする**社会性**が育まれてきた子どもたちもいました。

頑張ったけれど、負けてしまい、悔し涙をながした子どもたちもいました。懸命に努力したからこそ流れる涙には、目標を設定し**努力する力**、そして結果を受け入れ、次への糧とする**立ち直る力**（感情のコントロール）が育ったと思います。本番で緊張や恥ずかしさで立ちすくんでしまった子どもたちもいました。この経験はきっと「次は頑張ってみよう」という新たな**挑戦意欲**へと変わる、貴重な心の成長ステップとなると信じています。

2学期は、遠足、芋ほり、みかん狩り、みのりまつり、クリスマスとたくさんの行事があります。安心で安全だと思える環境があってこそ、子どもたちは、勇気をもって挑戦し、自信を持って困難に向かって行けると思います。
子どもたちがいきいきと活動し、自分の思いが言えるように、子どもたちの「やってみたい」「やりたくない」という気持ちにしっかり寄り添いながら思いを受けとめ、主体的に一歩を踏みだせるよう、保育をしていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

残念ながら絶版の絵本です。職員室前に置いていますので、手に取ってお読み下さい。

『ちいさい　わたし』という絵本を紹介します。
不安をかかえる女の子が主人公のお話です。

「いろんなことが上手にできない。
でもいつかはできるようになる。今はその途中だもん。」
子どもの気持ちがとてもよく描写されている絵本です。

ひかりの子の年少児さんＡちゃんもママと一緒じゃないとクラスへ行けませんでした。Aちゃんがある日突然、門から一人でクラスへ行く姿がありました。お母さんは驚かれ、その後ろ姿を涙ぐみながら見送られると「一人で行けるようになったのは嬉しいけれど、なんだか寂しいです。」と笑顔で言っておられました。
成長は行きつ戻りつですが、きっとその子にとっての『時』を神様がそなえてくださっていると感じます。その日を信じて祈り待ちましょう。